



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第85号

発行:2013年5月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

事務長に就任して

～逆境の時こそ真価が問われる～

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 事務長 福島 洋平



阿久和鳳荘の事務長へ異動を命じられてから、あっという間の1ヶ月半。管理職業務、介護保険制度、老健のしくみ等々、聞くもの触れるもの初めてのことが多く“これで良いのか”と自問自答するも答えの出ないまま追われる日々に、自分の力不足を痛感している今日この頃です。

と、みっともない愚痴はさておき、今回うれしはずかしニュースレター初登場ということで、ここで少し自己紹介をさせて頂きたいと思います。広島を卒業後、上京し一般企業への就職を経て、医療法人社団鵬友会と出会ったのは平成15年8月。以前から興味があった介護職に就きたいと思い、当時ケアワーカーを募集していた横浜ほうゆう病院に入職したのがきっかけでした。その時は資格はおろか介護経験も全くありませんでしたが、介護に対する根拠のない自信と期待に胸が膨らみ、意気揚々と仕事に臨みました。しかし、当然のことながら現実とは甘くなく、仕事の過酷さ、難しさにとまどい、介護を“業務”としてこなすことで精一杯でした。ただ同時に、患者さんと触れ合えることに介護のおもしろさ、やりがいを感じたことを今でも覚えています。その後事務職へ異動になった為、現場での経験はここでの半年程しかありませんが、振り返れば、その時学んだことは今の自分にとって、大きな糧になったと実感しています。

さて、鳳荘の現状はと言うと、昨年度の介護報酬の引き下げや20年目を迎える施設の修繕費など、様々な問題を抱え非常に厳しい状況にあります。し

かしこの状況はどこの施設も同じ、泣き言ばかりは言っただけではいられません。逆境の今だからこそ、施設としての真価が問われてくると思います。

医療・福祉業界はサービス業です。直近の介護福祉士制度の改正等でも見てとれる様に、今の急激な高齢化に対応するため、介護人材の安定確保のみならず、その資質の向上が重要視されてきています。ただ単に目の前の与えられた業務をこなすだけでは、この時代生き残れません。日常業務のその先、より高い質のサービスが求められているのです。より高い質とは、『どれだけ利用者様の立場・目線に立ったケアを提供できるか』に尽きると私は思います。そしてそれを行う為には「自分や自分の家族が利用者様の立場だったらどうだろうか」と常に考えながら業務を行うことが必要になってきます。

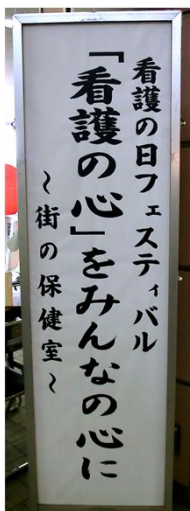
就任して1ヶ月半の私が言うのもおかしいですが鳳荘独特の施設の雰囲気、職員の人柄や人間関係は良いと自負していますし、現に職員一人ひとりには本当に一生懸命働いてくれています。ただもう少し全体としての歯車が噛み合い、同じベクトルを持つことができれば、もっと良い施設になれるはずで、それを実現することは、事務長である私の仕事だと思っています。

利用者の方はもちろん、職員にとっても良い職場を目指し、一年後みんなで笑っていられるようにこれからも努力していきたいと思っています。皆さんこれからもご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

看護フェスティバル 2013

～看護の心をみんなの心に～

5月12日はナイチンゲールの誕生日です。その前後一週間は【看護の日】として、全国各地で様々なイベントが行われます。鵬友会でも毎年恒例となった看護の日のイベントを5月16日（木）に相鉄線二俣川駅構内において、3病院（湘南泉病院・新中川病院・横浜ほうゆう病院）合同で血圧・体脂肪測定やAED体験、医師による健康相談など、様々な催しを行い、述べ700名の地域の方々と交流を持つことができました。



児玉院長による医療相談



日野院長による医療相談



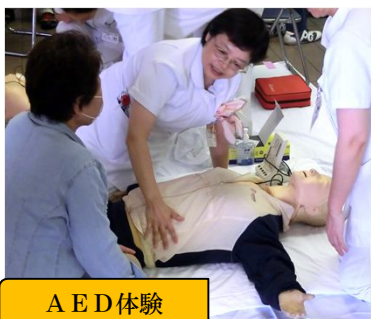
体力（バランス）測定



健康相談（お薬・栄



池田医師による医療相談



AED体験



血圧測定



認知症介護相談

新中川病院で27年 ～理容師 秋山さんお疲れ様でした～

27年間、新中川病院で理容師として勤めさせて頂きましてありがとうございました。私はいつも、理容師としての自覚をもって、現場ではナース、ケアワーカーさんの助手として、患者さんに向き合い、散髪・顔すりのお手伝いをさせて頂きました。こうした積み重ねによって信頼関係ができ、長く勤めることが出来たと思っております。もちろん皆様のご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。



理容師 秋山和子さ